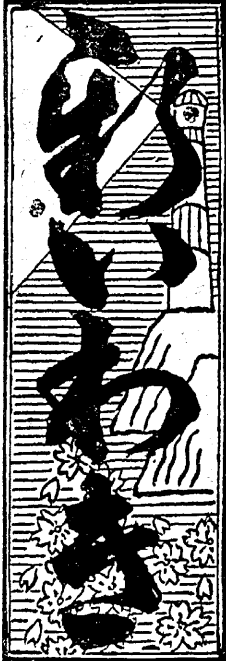


刊夕 日八十月六



日刊但シ日曜祭日
日休刊一ヶ月廿五
郵税十五錢一郵
廣告料一行四十
場所指定 二十錢
發行所 印刷部
牛谷政喜
新島縣平町大町三
新島縣平町大町三

常識講座

グーテン・ド・ランデ
グーは我が國の待合に
等しきもの、グー
は家または店、料理店
あるは喫茶店を指す
ランデグーは既に一般
の知るところであらう
語を察してコウ鬼の家
造ひる程立派なものなるで
あらうと
▲直角カーブの個所福田屋
旅館前 水野漁業組合長宅
前 みどり屋前(以上)

石城の地米高から
政府米八千俵入荷

申分のない米で一俵十二圓
昨年米より七十錢安

石城地方の米價は異常な高値
を保持してゐたが天候不順が
回復して懸念の不作が漸く一
掃され豫めて警戒されてゐた
高値買ひも自然下火となつて
來る二十一日の俵米共販は前
回に比して相當の下値を豫想
されてゐるが打續いた地米高
から最近政府拂下げ米の入荷
を激増し去る五月中には僅か
に五十三噸(内台灣米一六六
石余)に過ぎなかつた平驛の
同到着は本月四日以来毎日の

小名江名間の癌
神白隧道愈よ改修

東北振興事業で工費三萬圓
明日から施行の實測

小名江町と江名町を境する縣
道神白隧道は崩壊頻繁で危険
甚だしく一般交通者から完全
なる改修を望まれてゐたが實
現するに至らず同路線の崩と
まで云はれてゐたが今回愈よ
東北振興の事業として工費三
萬圓を以て同隧道を除去する
掘削道に改められることに決
し明十九日縣土木課から木村
技師及び草野技師出張工事施
行の實測をなす筈である右工
事は來七月招集の臨時縣會を
經ると同時に着手の運びを取

昭和人絹の藥害
賠償問題解決す
五千圓の要求に一千三百圓
農會及植田署の骨折で

石城郡錦町の昭和人絹工場か
ら放出する瓦斯の被害は既報
の如く漸く附近の草木に其の
影響を目立つて見られて來た
が殊に田植時期を控いて苗付
約三町歩に被害を受けた農民
と同工場との間に起つてゐる
損害賠償問題は被害側に於け
る五千圓の要求に對して余り
にも折の進み工場側の主張か
ら交渉不調に陥り所轄植田署
察署では圓滿なる解決をなす
様工場側に警告を發し尚ほ縣
保安課では昨十七日山本人絹
工場長に出縣を求め豫めて命
工場長に漸く解決した

仙遊局の懸賞募集
東北振興のポスター圖案

貯金団体成立に積極的の獎勵
賞金は五十圓と三十圓

仙台通信局では東北または地
方振興策が具体化されつゝあ
るに鑑み其の實を舉ぐる
には地方民自體の精神を興
し勸励貯蓄によつて其の基礎
を培養するにあらざるを得
が寄與助成を圖るため振興貯

局宛應募取扱ひをなす筈で賞
金はポスター一十圓、マ
ーク一十圓、貯蓄券の圖
案は返戻せず又その版権は仙
台通信局に歸するることにな
つてゐる
▲ポスター(一)意匠貯蓄思
想の涵養を閉却して眞の東
北(又は地方)振興は期し難
く勸励貯蓄の美風を涵養す
るには郵便貯金の奨励に依
るを最も適切、となし仙台
通信局に於て「振興貯蓄」な
る貯金団体の成立を極力奨
勵するものなる意圖を周知
するに相應はしきもの但し
下部に「仙台通信局の文字
を右書きに入れること(一)
用紙は需用紙又は同等厚紙
にして新聞半面大(三)刷色
は印刷色にして五色以内
▲マーク(一)意匠東北振興
と郵便貯金を意匠付けたる
ものにして「振興貯蓄」の文
字を捜入し貯金通帳表面に
貼付するに相應しきものた
ること(二)用紙は需用紙又
は同等の厚紙にして縦横共
に四寸尙ほ圖案は圓形たる
こと(三)刷色は三色(以上)

四倉市場
第二日目の

最高五十一圓廿錢
平均値で六十錢落
四倉市場昨十七日の出荷は
八百七十六貫で取引相場左記
の如く平均値は前日に比して
六十錢落ちであつた尚ほ生糸
は一時非常な好況來を謳はれ
たが活況豫想の思惑人氣も海
外が一向これに追隨して來な
い爲め當日の濱取引は五圓安
の七百五圓である
高値五十一圓二十錢 低値
四十五圓 平均四十八圓十
錢(以上)

散々罵倒

名譽毀損の告訴
石城郡内郷村の合農草野金四
郎(三)は去る十二日同村鬼ヶ
澤草野利久方の葬儀に參列し
た百餘名の送葬者の中に於て
豫て怨みを抱いてゐた村内
平太郎居住酒井常松(四)を散
々に罵倒したるを周囲の人々
が取なしで其の場は何事もな
く済んだが罵倒された常松は
如何にしても胸がさまたず
金四郎を被告取つて平署に名
譽毀損の告訴をなした

娘の無斷家出

茨城縣茨城郡磯崎町磯崎の永
野卯之吉長女きよ(三)は去る
て呉れまいと思つて頭髪を墨
で染めた。屈強の敵と心ゆく
ばかり最期の切り合ひをして
見たい精一はいよいよ死んで
のがせめても平家への報恩
である。恩と義とを兼ねつゝ
した崇峻の覺悟である。
赤地錦の直垂に萌黄句の錦着
て鐵形打たる甲の結をしめ黄
金作りの太刀を佩き、とある
から余程の若作りである。落

十一日正午頃所用と稱した出
たまふ行方不明となり心當り
を捜索されてゐるがきよには
同縣眞壁郡中村大字泉生れ元
常野共同新聞店石橋販賣所主
任小島國盛(二十五才位)と
稱する同伴者があるらしく石
城地方に潜伏してゐる模様だ
と今十八日卯之吉から平署に
捜索方を願出た

宿料踏倒

東京の株屋が湯本
町の山形屋で
東京市流橋區湯島町株式賣買
業池田庄(四)は去る四日か
ら十二日に至る九日間石城郡
湯本町旅館山形屋方に滞宿な
し約三十圓の宿料その他を踏
倒して逃走し平署に捜査され
てゐるが去る十六日逮捕され
て取調中である尚ほ同人は現
金四十八圓を持つてゐた

父丹野榮三郎儀病氣の處療養不
相叶去十六日午後八時死去仕候

追而葬送の儀は六月二十日午後二時自宅出棺
大館青雲院に於て佛式により相營可申候
昭和十一年六月十八日
福島縣平町二丁目
喪主 根本善吉
親戚一同

替る映画

舊五月五日(六月二十三日)の
節句を差替ひ今週の兩映諸館
は近來稀なプロを組んで愈々
今十八日より開館した、何れ
劣らぬ番組にファンたる者の
總ては見逃し得ない事だらう
まづ其の諸題を記せば
平 館
◎日活現代劇全發聲『あな
たと呼べば』◎東日國際ニ
ュース◎ワーナー社特作全
發聲日本版『Gメン』◎日活
特作全發聲浪曲映話『忠治
とお万』
世界 館
◎松竹ニュース◎千恵プロ
發聲『白牡丹』◎松竹特作全
發聲『吹下り戀風』◎特作全
大伴松竹下加茂全發聲『雪
之願変化』解決篇
今晩は南の風晴(一時曇)
明日は南の風晴(一時曇)
(小名江測候所)

村 燕 句集
から (五)
満壽莊主人
だから錦を故郷に飾る意味
で出陣の前に宗盛に錦の直垂
を着る事を許してもらつたが
錦を故郷に飾りたいのみでな
く死を美しくしたかつたので
ある。彼は戰場に出ると白髮
頭では是ぞと思ふ敵がかまつ

て呉れまいと思つて頭髪を墨
で染めた。屈強の敵と心ゆく
ばかり最期の切り合ひをして
見たい精一はいよいよ死んで
のがせめても平家への報恩
である。恩と義とを兼ねつゝ
した崇峻の覺悟である。
赤地錦の直垂に萌黄句の錦着
て鐵形打たる甲の結をしめ黄
金作りの太刀を佩き、とある
から余程の若作りである。落

ち行く勢の中にたゞ一騎返し
やれ御褒美がもへるぞ」と
合せ「防ぎ戦ふ」とあるの
實盛は云つた。二人が組まう
を見ると彼の奮闘想像するに
余りある。木倉の方より手塚
を敵の前輪に押しつけつと
「あなやさし如何なる人に候
も動かさず首を切つた。其際
へは御方の御勢は皆落ち行候
に手塚は實盛の草摺引上げて
らん名乗らせ給へ」と云つた
此の首を手塚は義伸の實檢に
入れて云つた。

産業方面

生産者の 鶏卵常識 (一)

生産者は鶏卵が如何なるものであるか生産より利用まで如何やうに取扱はれ利用されるものであるか、将来に對し認識して置く必要があり、生産者は單に鶏卵を生産すれば良いのではなく、一個の鶏卵を生産するにも之れが養分値は如何なるものであるか又は如何にしたなら其の養分値が増大するか飼養管理並びに飼料が如何に影響するものであるか、生産と卵價、生産の過剩に備ふべき鶏卵の貯藏及び加工等まで研究して養鶏經營上最も有利ならしめることは生産者の急務であり、又目下の鶏卵が如何やうに利用されるか我が國に於ける鶏卵の需給状況等は非認識されることとが刻下の養鶏家にとつて最も肝要なことであります。

一、管理及び飼料が鶏卵に及ぼす影響

鶏卵は滋養に富み且つ順る美味にして消化もまた容易でありますから牛乳と相對して滋養食料として近來需用を増加し其の養分値としても大なることは今更贅言を要せぬところであり、然るに鶏卵は飼料の影響を蒙り其の組成を變ずるものであるから養分値の大なる卵を生産するためには飼料の配合及び鶏の管理を合理的に行ふことが肝要であります。

特にビタミンDは卵黃と肝油位が多い方で蔬菜類に於てはビタミンAは多いけれども

ともビタミンDは極めて少ないものであるから鶏卵はビタミンDが多い點からして卵はビタミンDの補給を充分にせなければならぬ。

夏ノ流行洋品

文字帽

パナマ帽子

春雨兼用 絹傘

流行パラソル

ツルヤ 電一四〇

正確なる 寒暖計 (各種) 計量器指定販賣 平町五丁目角 山野邊藥局

お醤油は ヤマフル

醬油味噌 鱈節食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本営業部 二七〇番 本店 二七番

亞鉛鍍金所 開業

來ル六月一日ヨリ平町字大町五番地ニ亞鉛メッキ所ヲ新設致シマシタ 何卒宜敷御引立入程御願ヒ申上ゲマス

在來ノ電氣メッキ法デハナク耐久力の強い熱解メッキ法デアリマス。

主ナル 漁業器具、船舶、水道、鐵山建築 等デ需用 鐵道、電氣等ノ諸金物其他一般用アリ方面ハ 水、塩水、濕氣アル箇所の鐵材類 マス

福島縣平町大町五番地(呼)電六三七番

太平洋鍍金所

所主 高木秀次郎

内科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森勇

平町南町 電二五八番

婦人科 長木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町九一

入院隨意 病室完備

木村病院

電話一六四番

別館 靜かなお座敷! 落成 氣がるな食堂! 共に お客様の御満足を頂けると存じます

和洋料理 一の井

平、田町五 電一六七

停車場へも本町へも近しい三丁目北裏の中頃でございます、

いつれからも運びが便利でございます、

レストラン

正	正	正	る	食	し
し	し	し	酒	事	づ
い	い	い	場	の	か
酒	喫	食		出	に
場	茶	堂		來	

スペイン G.H.N 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

舞臺人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

入院 應需

明雲堂眼科醫院

平町前 電六六九番

●自炊の便あり

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です

會員(同志)の 御加入を御誘ひ致します 御出なき御返御致しませ

平町字田町十八(西村屋横町)

會長 日下すい子

電話 七二三番

外科一般 レントゲン科

北川外科

醫學博士 北川芳夫

平町新川町(諸橋醫院跡)

小林良次

電話 四六四番

(血液検査毎日) イツデモ 入院出來マス

質を高く 質を高く

和洋酒

良品 廉價 質を高く

西村屋藥舖

營業開始

大衆奉仕を 念願とし社會中層の御相手旅館としてや

よび館の名の許に愈々六月六日より營業を開始する事に致しました。

眺望並に清新 色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。

室賃を主とし 經營致します故御食事は御自由ですがお望みに依り差下ぐる設備もありません。

崇茶代は勿論申受けません

何卒御引立の程を願ひます

平郵便局前通り(電話七六番)

やよひセツ

館主 植野セツ